

令和 2 年度 6月補正予算 主要な事業の説明書

(一般会計)

令和2年 第2回 嬉野市議会定例会提出

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費	事業名	緊急防災対策事業(避難所運営資機材)			
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり			政策分野	①消防・防災			
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課		予算書ページ	22	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

内閣府により示された、新型コロナウイルス感染症への更なる対応についての事務連絡を受け、来たるべき災害時の避難所における感染予防対策を図り、避難者の感染リスクの軽減を図る。

2. 事業内容

市内の主な避難所において、感染防止のために密集回避のためのパーティションと簡易ベッドを用いることで、飛沫拡散防止や咳の抑制に資する。

3. 全体計画		事業期間 平成 年度 ~ 令和 2 年度				事業費(千円)	4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		内	容	補助	単独	
事業内容					2,745	需用費	(消耗品費)避難所運営資機材	2,745		
事業費(単位:千円)	補助率				2,745					
財源内訳	国庫支出金	定額			1,000					
	県支出金									
	市債									
	ふるさと応援寄附金									
	その他									
一般財源					1,745	計		2,745		

5. その他参考となる事項

- ・段ボール間仕切り 8,500円×230セット×1.1=2,150,500円
- ・簡易ベッド 9,000円×60台×1.1=594,000円

国庫補助金 : 地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応)(定額) 1,000千円

【様式1】 令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 地域振興事業費	事業名	コミュニティ助成事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野	③住民自治・住民参画			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	13	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

地域のコミュニティ活動に必要な備品の整備や集会施設建設等に必要な経費を補助することにより、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。

2. 事業内容

財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するもので、事業の採択(助成金交付決定)は、同センター自らが行う。
 今回採択された事業は3事業であり、「一般コミュニティ助成事業」として茂手区の太鼓他コミュニティ活動備品の整備(2,500千円)、納戸料区の草刈機他コミュニティ活動備品の整備(2,500千円)が決定され、「地域防災組織育成助成事業」の中の自主防災組織育成助成事業として大草野地区地域コミュニティ運営協議会の移動かまど他防災資機材の整備(1,800千円)が決定された。

3. 全体計画	事業期間	平成 29 年度	～	令和 2 年度	事業費(千円)	19,200
実施年度		平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
事業内容		コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業	
事業費(単位:千円)	補助率	3,600	4,300	4,500	6,800	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他	100%	3,600	4,300	4,500	6,800
一般財源						

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)		
内	補助	単独	
負担金、補助及び交付金	一般コミュニティ助成事業:茂手区 2,500,000円	6,800	
	納戸料区 2,500,000円		
	地域防災組織育成助成事業(区分ア):		
	大草野地区地域コミュニティ運営協議会 1,800,000円		
計		6,800	

5. その他参考となる事項

事業区分	実施団体名	事業内容	助成決定額
一般コミュニティ助成事業	茂手区	「和太鼓(張替)」「笛」「法被」等の浮立道具を整備し伝承芸能の保存・後継者育成を図る。また、行事や区役で使用する「グラウンドゴルフ道具」「草刈機」等や公民館内の「座布団」「掃除機」等、事務用品の「パソコン」等を整備し公民館の利便性と各種行事の充実を図る。	2,500,000円
一般コミュニティ助成事業	納戸料区	百年桜周辺や生活道路周辺の草刈りのため「雑草刈機」を購入することで、区民の負担が軽減され活動しやすくなる。また、地区行事に使用する「提灯」「テント」「折りたたみテーブル・イス」等を購入することで公民館の利用率アップ、区民の交流活性化が期待できる。	2,500,000円
地域防災組織育成助成事業 ア. 自主防災組織育成助成事業	大草野地区地域コミュニティ 運営協議会	大草野地区は災害に見舞われやすい立地であることから、災害に備えて「移動かまど」「発電機」「投光器」等を購入し、平日頃の防災対策や実践的な訓練を実施することで、安全意識を高め、さらなる自主防災活動の充実を目指す。	1,800,000円

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	8 情報管理費	事業名	テレワークシステム導入事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野	④行政計画			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課		予算書ページ	13	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

テレワークシステムを導入することで、「働き方改革」の推進及び事業継続性を確保する。

2. 事業内容

庁舎外から自席パソコンへのリモートアクセスが可能になるよう環境を整備する。

3. 全体計画	事業期間	令和 2 年度	～	令和	年度	事業費(千円)	7,260
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度			
事業内容					テレワークシステム構築 一式		
事業費(単位:千円)	補助率					7,260	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源						7,260	

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助	単独
委託料	テレワークシステム構築 一式	7,260
	計	7,260

5. その他参考となる事項

テレワークシステムのアカウント数 ……20

- ・ソリューション構築用サーバ
- ・ソリューション構築経費
- ・ソリューションライセンス経費 一式

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	放課後等デイサービス支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	③障がい者				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	15	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

コロナウイルス感染症防止のため特別支援学校等が臨時休校を実施した場合、放課後等デイサービスの利用の増が見込まれることから、追加的に生じた利用者負担を免除することを目的とする。

2. 事業内容

コロナウイルス感染症予防のため特別支援学校が臨時休校したことにより、放課後等デイサービスを新規で利用するようになった場合の利用者負担額や、既存利用者で平日単価と休日単価の差額が生じた場合に利用者負担を補助する。

3. 全体計画	事業期間	令和 2 年度	～	令和 年度	事業費(千円)	700
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		
事業内容				特別支援学校等の臨時休校により生じた利用者負担の補助事業		
事業費(単位:千円)	補助率					700
財源内訳	国庫支出金	50%				350
	県支出金	25%				175
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源						175

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	補助	単独
内	容		
補助金	利用者負担金補助	700	
	新規利用者負担額		
	4,600円×10か月×10人=460,000円		
	既存利用者の負担増額		
	600円×10か月×40人=240,000円		
	計	700	

5. その他参考となる事項

国庫補助金 : 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業(1/2) 350千円
 県補助金 : 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業(1/4) 175千円

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	新型コロナウイルス関連緊急支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針	進化と創造、活みみなぎるまちづくり				政策分野	③商工業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ページ	19	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出の自粛や店舗の休業要請のため、経済交流の停滞が発生中である。このため、市内事業所の経済支援を必要とするため、緊急支援及び経済対策を行う。

2. 事業内容

・緊急支援事業
「うれしのがんばろう!!産業給付金」
感染症拡大により大きな影響を受けた事業者に対して、事業の継続を下支えするため、嬉野市の産業を担う事業者へ市の特性を考慮した緊急支援として、嬉野市独自の給付金を商工会に委託して給付する。

・緊急経済対策事業
「あなたのうれしいプロジェクト」と銘打ち、県民を対象にコロナ等の影響でやりたかったけどできなかった思い出作りをお手伝いする「〇inうれしの」、嬉野市に里帰りできなかった方へ市民が市の特産品等を送る「うれしのウキウキパック」を行う。このことにより、休業要請等で停滞している市内経済の活性化に寄与し死活問題の状態になっている商店・小売業の回復を図る。

3. 全体計画		事業期間	平成	年度	～	令和	年度	事業費(千円)
実施年度	事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
	事業費(単位:千円)				95,941			
財源内訳	国庫支出金				48,321			
	県支出金							
	市債							
	ふるさと応援寄附金							
	その他							
	一般財源				47,620			

4. 本年度の事業費内訳			予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独	
	【今回補正】			
役員費(通信運搬費)	緊急経済対策事業(うれしのウキウキパック)	3,217,000円	3,217	
(手数料)	緊急経済対策事業(うれしのウキウキパック)	60,000円	60	
委託料	緊急支援事業(産業給付金)	44,500,000円	44,500	
	緊急経済対策事業(〇inうれしの)	40,000,000円	40,000	
	緊急経済対策事業(うれしのウキウキパック)	8,164,000円	8,164	
	計		95,941	

5. その他参考となる事項

・ 緊急支援事業(産業給付金)
440施設×上限100,000円=44,000,000円 事務費 500,000円 計 44,500,000円 [歳入] 事業費 95,941千円
国庫補助金:地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応)(定額) 48,321千円

・ 緊急経済対策事業
「あなたのうれしいプロジェクト」キャンペーン
〇inうれしの 40,000,000円 (内訳) (平均補助額)9,000円+(体験)1,000円+(クーポン)2,000円=12,000円 12,000円×3,000人=36,000,000円 委託事務等 4,000,000円
うれしのウキウキパック 11,441,000円 (内訳) 送料郵便料 3,217,000円 振込手数料 60,000円 事務手数料・出荷等委託料等 1,764,000円
パック総額 3,200円×2,000パック=6,400,000円 計 51,441,000円

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	4 造林費	事業名	市有林森林経営事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野	②林業			
実施主体	その他	所属部	建設部	所属課	建設・農林整備課		予算書ページ	18	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

市が所有、管理する山林について、中期的な観点から森林経営計画による施業を事業体が行う事により、効率的な経営を図る。

2. 事業内容

市有林の一部を、5ヶ年で計画的に作業道の新設及び搬出間伐を事業体が行う。なお、毎年度事業費から各補助金を差し引いた額を市が負担する。

3. 全体計画		事業期間		令和 2 年度	～	令和 6 年度	事業費(千円)
実施年度		平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和2年度		
事業内容						作業道整備 搬出間伐	
事業費(単位:千円)	補助率						5,862
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源						5,862	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金,補助及び交付金:間伐7.5ha、作業道L=1,350m			5,862
計			5,862

5. その他参考となる事項

事業主体: 単一事業体 (R2年度～R6年度)

単位: 千円

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	備 考
事業量	7.5ha	10ha	11ha	10ha	7ha	45.5ha	間伐等作業面積
事業費	13,713	12,960	12,320	9,680	5,100	53,773	年度ごとの全体事業費
負担金	5,862	4,630	4,020	4,370	2,260	21,142	間伐及び作業道の県等補助金を差し引いた額

※事業量及び事業費については変動する可能性あり

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(市道調査・改良)				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			⑦道路・交通
実施主体		市	所属部	建設部	所属課	建設・農林整備課	予算書ページ	20	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

道路防災事業及び舗装補修整備事業により通行車両及び歩行者の安全確保を図ることを目的とする。

2. 事業内容

市道防災事業路線の測量、調査を行う。

3. 全体計画		事業期間	平成 23 年度	～	令和 年度	事業費(千円)	489,647
実施年度		平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		
事業内容		市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良		
事業費(単位:千円)		補助率	24,804	36,716	325,147	31,481	
財源内訳	国庫支出金	52.50%	12,993	18,007	166,081	15,215	
	県支出金						
	市債	90%	4,800	13,900	142,000		
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源			7,011	4,809	17,066	16,266	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料	道路防災調査(市道北向線ほか23路線)	52,000	1,000
	【今回減額補正】		
	・道路防災調査	△ 26,819	
	・舗装補修整備(設計)	7,500	1,500
	【今回減額補正】		
	・舗装補修整備(設計)	△ 3,700	
計		28,981	2,500

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 62,000 千円
 6月補正事業費 △ 30,519 千円

補正財源内訳	国庫支出金	△ 16,022 千円
	一般財源	△ 14,497 千円

補正後事業費 31,481 千円

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	道路メンテナンス事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			⑦道路・交通
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設・農林整備課		予算書ページ	20	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

市が管理する橋梁等について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 事業内容

橋梁等の定期点検及び補修整備を行う。

3. 全体計画		事業期間 令和 2 年度 ~ 令和 年度		事業費(千円)
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
事業内容				橋梁補修設計
事業費(単位:千円)				10,000
財源内訳	補助率			
国庫支出金	57.75%			5,197
県支出金				
市債				
ふるさと応援寄附金				
その他				
一般財源				4,803

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
委託料	橋梁補修設計業務(市道橋2橋)	9,000	1,000
	計	9,000	1,000

5. その他参考となる事項

委託料 10,000,000 円
 橋梁補修設計業務 市道橋2橋 (補助)9,000千円、(単独)1,000千円 計 10,000千円

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費		項	1 総務管理費			目	15 市史編纂費			事業名	市史編纂事業						
総合計画による位置づけ				基本方針			しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野		③歴史・文化・芸術						
実施主体		市		所属部		教育部		所属課		教育総務課		予算書ページ		13	新規		継続		○

1. 事業の目的・効果

塩田、嬉野両町史刊行から長年経過し、嬉野市における歴史研究の進展に伴い、新資料による新たな史実と失われつつある資料を基に、両町の融合した歴史の体系を取りまとめた嬉野市史を編纂することにより、嬉野市の歴史を再認識することで市民が郷土に対する誇りと愛着を深め、嬉野市のさらなる発展の指針とすることができる。

2. 事業内容

嬉野市制から14年が経過し、旧塩田町、旧嬉野町の町史が刊行後40年近く経過することから、これまで明らかになった資料を含めた両町を融合した嬉野市史を編纂する。編纂においては、編纂委員会及び編集委員会を立ち上げ、編纂方針を決定し、調査を進めながら市史を編纂する。事業期間は令和5年度までを予定とする。

- ・市史編纂における自然・地理分野の執筆において岩石の詳細な年代測定を行う。
- ・市史編纂における窯業分野の執筆において、実測した陶磁器等のデジタルトレースデータを作成する。

3. 全体計画		事業期間 平成 30 年度 ～ 令和 5 年度		事業費(千円)		24,238			
実施年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度	
事業内容				市史編纂事業		市史編纂事業		市史編纂事業	
事業費(単位:千円)		補助率		4,255		8,732		11,251	
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	市債								
	ふるさと応援寄附金								
	その他(合併振興基金)			4,000		8,000		10,000	
一般財源			255		732		1,251		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
報酬	市史編纂委員11人、市史編集委員12人、会計年度任用職員2人		4,263
職員手当等	会計年度任用職員2人		824
共済費	会計年度任用職員2人 社会保険料 694千円、雇用保険料 54千円		748
報償費	専門部会調査等謝金 12,000円×3人×8部会×3回=864,000円		864
旅費	普通旅費 19千円、委員費用弁償 399千円		418
需用費	消耗品費 100千円		100
役務費	通信運搬費(切手代) 4千円、保険料(現地調査時傷害保険) 31千円		35
委託料	編集業務委託 1,056千円		1,056
	【今回追加補正】2,383,000円		2,383
	地質年代測定業務一式 1,128,600円×1.1=1,241,460円		
	陶磁器類デジタルトレース作成業務一式		
	1,037,000円×1.1=1,140,700円		
使用料及び賃借料	事務機器リース(コピー機等) 456千円 施設等使用料 20千円		476
備品購入費	書庫等 84千円		84
計			11,251

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		8,868 千円																					
6月補正事業費		2,383 千円																					
<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(補正財源内訳)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">その他(基金繰入)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">2,000 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">一般財源</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">383 千円</td> </tr> </table>				(補正財源内訳)						その他(基金繰入)				2,000 千円				一般財源				383 千円	
(補正財源内訳)																							
		その他(基金繰入)																					
		2,000 千円																					
		一般財源																					
		383 千円																					
補正後事業費		11,251 千円																					

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	小中連携による学力向上推進地域指定事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課	予算書ページ	23	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

学力向上への取り組みの成果を全県に普及することにより、県内小・中学校における小中連携による授業改善と教師の指導力向上を目指すことができる。

2. 事業内容

佐賀県教育委員会の指定する中学校及び校区内小学校が、児童生徒の学力向上に向けて、基礎基本の定着や活用力を高める授業改善、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に学ぶ態度の育成等に小・中学校が連携して取り組む。(事業期間は令和3年度までの2年間)
「指定校」・・・嬉野中学校、嬉野小学校、轟小学校、大草野小学校

3. 全体計画	事業期間	令和 2 年度	～	令和 3 年度	事業費(千円)	451
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		
事業内容				地域連携による 学力向上推進		
事業費(単位:千円)	補助率					451
財 源 内 訳	国庫支出金					
	県支出金	定額				450
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源						1

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	補助	単独
内	容		
報償費	(謝金)講演会講師謝金 6,000円×2時間×2人=24,000円	24	
旅費	(費用弁償)	250	
	研究校視察 60,000円		
	先進地視察 174,640円		
	講演会講師費用弁償 15,000円		
需用費	(消耗品費)インクカートリッジ、コピー用紙、再生紙、 ラミネートフィルム、フェイル、ワークシート等 177,000円	177	
	計	451	

5. その他参考となる事項

○歳入 活用する委託金の事業名 小中連携による学力向上推進地域指定事業(定額)
(1年目)450,000円
(2年目)300,000円

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	情報通信ネットワーク環境施設整備事業					
総合計画による位置づけ			基本方針			しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野			①教育	
実施主体		市	所属部	教育部	所属課	学校教育課・教育総務課	予算書ページ	24	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するために、児童生徒1人1台端末を前提とした高速大容量の校内LAN環境を整備する。

2. 事業内容

小学校の普通教室及び特別支援教室等において、安定かつ高速接続が可能な校内無線LANネットワーク環境の整備、タブレット型パソコン等を充電・保管するための充電保管庫の整備等を行い、今後の教育の情報化を支える情報ネットワーク基盤を構築する。文部科学省における『GIGAスクール構想』の実現に向けた施策の補助金を活用する。

3. 全体計画	事業期間	令和 2 年度	～	令和 2 年度	事業費(千円)	70,825
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		
事業内容					校内LAN環境の整備	
事業費(単位:千円)	補助率					70,825
財源内訳	国庫支出金	1/2				34,980
	県支出金					
	市債	90%				30,800
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源					5,045

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)		
内	容	補助	単独
委託料	設計監理業務 7校分	4,350	
工事請負費	7校分	65,491	984
	機器(無線AP、拠点ルータ、基幹スイッチ、充電保管庫等)		
	設置・配線作業費(電源工事含む)、設定作業費		
	計	69,841	984

5. その他参考となる事項

単位(千円)

	①補助対象工事費等見込額	②補助単価により算定した工事費	③補助対象工事費(①、②の低い方)	④国庫補助内定額(③×1/2+事務費1%)	⑤市債(③-④)×90%	単独分
小学校費	69,841	63,850	/	34,980	30,800	984
中学校費	31,905	37,060		15,979	14,100	507
計	101,746	100,910	100,910	50,959	44,900	1,491

国庫補助内定額のうち、小学校費を按分
 $(69,841,000円 \div 101,746,000円) \times 50,959,000円 \approx 34,980,000円$

○市債 学校教育施設等整備事業債(90%)
 $(100,910,000円 - 50,959,000円) \times 90\% \approx 44,900,000円$

市債のうち、小学校費を按分
 $(69,841,000円 \div 101,746,000円) \times 44,900,000円 \approx 30,800,000円$

校内LANの環境整備が整えば、タブレット型パソコンを整備予定

【様式1】 令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	情報通信ネットワーク環境施設整備事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課・教育総務課		予算書ページ	25	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するために、児童生徒1人1台端末を前提とした高速大容量の校内LAN環境を整備する。

2. 事業内容

中学校の普通教室及び特別支援教室等において、安定かつ高速接続が可能な校内無線LANネットワーク環境の整備、タブレット型パソコン等を充電・保管するための充電保管庫の整備等を行い、今後の教育の情報化を支える情報ネットワーク基盤を構築する。文部科学省における『GIGAスクール構想』の実現に向けた施策の補助金を活用する。

3. 全体計画	事業期間	令和 2 年度	～	令和 2 年度	事業費(千円)	32,412
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		
事業内容					校内LAN環境の整備	
事業費(単位:千円)	補助率					32,412
財源内訳	国庫支出金	1/2				15,979
	県支出金					
	市債	90%				14,100
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源					2,333

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)		
内	容	補助	単独
委託料	設計監理業務 4校分	2,911	
工事請負費	4校分	28,994	507
	機器(無線AP、拠点ルータ、基幹スイッチ、充電保管庫等)		
	設置・配線作業費(電源工事含む)、設定作業費		
	計	31,905	507

5. その他参考となる事項

単位(千円)

	①補助対象工事費等見込額	②補助単価により算定した工事費	③補助対象工事費(①、②の低い方)	④国庫補助内定額(③×1/2+事務費1%)	⑤市債(③-④)×90%	単独分
小学校費	69,841	63,850	/	34,980	30,800	984
中学校費	31,905	37,060		15,979	14,100	507
計	101,746	100,910	100,910	50,959	44,900	1,491

国庫補助内定額のうち、中学校費を按分
 $(31,905,000円 \div 101,746,000円) \times 50,959,000円 \approx 15,979,000円$

○市債 学校教育施設等整備事業債(90%)
 $(100,910,000円 - 50,959,000円) \times 90\% \approx 44,900,000円$

市債のうち、中学校費を按分
 $(31,905,000円 \div 101,746,000円) \times 44,900,000円 \approx 14,100,000円$

校内LANの環境整備が整えば、タブレット型パソコンを整備予定

令和 2 年度 6月補正予算 主要な事業の説明書

(国民健康保険特別会計)

令和2年 第2回 嬉野市議会定例会提出

【様式1】

令和2年度 6月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2.保険給付費	項	6. 傷病手当金	目	1. 傷病手当金	事業名	新型コロナウイルス感染症傷病手当金			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑤健康・医療			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		予算書ページ	37	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症に感染した被用者(感染が疑われる者含む)に対して傷病手当金を支給し、労働者が休みやすい環境を整備することで、感染拡大を防止する。

2. 事業内容

支給に係る費用については、全額が特別調整交付金より交付される。

【対象者】 国保被保険者で、新型コロナウイルス感染症に感染した被用者(感染が疑われる者含む)

【支給対象日数】 令和2年1月1日から9月30日までの期間で、労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間のうち就労を予定していた日数

【支給額】 1日当たりの支給額(直近の継続した3月間の給与収入の合計額÷就労日数)×2/3×支給対象日数

【適用期間】 令和2年1月1日～9月30日の間で療養のため労務に服することができない期間(ただし、入院が継続する場合、支給を始めた日から起算して最長1年6月まで)

3. 全体計画	事業期間	令和 2 年度	～	令和 2 年度	事業費(千円)
実施年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
事業内容				新型コロナウイルス感染症傷病手当金	
事業費(単位:千円)					763
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					763
市債					
ふるさと応援寄附金					
その他					
一般財源					

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助	単独
負担金、補助及び交付金		
傷病手当金 8,800円×2/3×20日×13件	763	
計	763	

5. その他参考となる事項

【コロナ関連予算】

一日当たりの支給額×2/3×支給対象日数×件数

8,800円×2/3×10日×13件

社会保険の最低月額賃金より一日当たりの賃金を算出(88,000円÷20日)・・・4,400円×2=8,800円

佐賀県人口に対するPCR検査見込数割合(0.5%)から嬉野市国保対象者(20歳～64歳 2,555人)の検査見込数を算出・・・13人